

平成 22 年第 3 回定例会一般質問通告一覧表

質問順	受付月日	9. 6	通告者	10番	藤原 益 栄
1番	答 弁 者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	中央公園の整備について				
	(1) サッカー場とソフトボール場の近辺に早急に水洗トイレを整備されたい。 (2) 南北大路等、今後の中央公園の整備計画を明らかにされたい。				
2	図書館について				
	(1) 司書について ア 正規職員中、司書資格者が2名という現在の配置は不十分というのが教育委員会の認識ではないのか。 イ 司書、司書補が庁舎内に10名いるからと、司書の専門職採用を拒否されたが、なぜそれが理由になるのか。 (2) 書庫について ア 書庫の増設は平成27年の耐震診断と合わせて行う、とのことだが、なぜ一緒になければならないのか。理由を説明されたい。 イ 場合によっては耐震診断を早めるべきではないか。 ウ いずれにしても書庫増設を急がれたい。				

質問順	受付月日	9. 6	通告者	1 番	柳 原 清
2番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	
1	市道整備について				
	高橋跨線橋の耐震補強工事、新田南錦町線、南宮北福室線道路改築工事の予算が大幅に減額されたが、今後の工事見通しを伺う。				
2	保育所待機児童解消について				
	保育所待機児童が160名を超え、保育所建設は待ったなしである。待機児童解消の方策を伺う。				
3	市内循環バスについて				
	七ヶ浜町の「ぐるりんこ」、塩竈市の「しおナビバス」、利府町の「町民バス」など周辺自治体の循環バスが大変好評である。本市も循環バスを実施されたい。				

4	岩切駅自由通路について
	岩切駅自由通路の実現は、新田、山王、南宮地域住民の長年の要望である。自由通路実現の見通しを伺う。
5	非核平和都市宣言について
	本年第2回定例会一般質問で、市長は「非核平和都市宣言」に前向きな答弁をしているが、その後の進捗状況はいかがか。

質問順	受付月日	9. 6	通告者	9 番	板橋 恵一
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	高橋4丁目近隣公園用地について				
	公園用地の整備現況と公園としての整備計画についてお伺いします。				
2	高橋4丁目公益施設用地について				
	公益用地（コミュニティセンター予定地）の整備現況と公益用地としての整備計画についてお伺いします。				

質問順	受付月日	9. 6	通告者	2 番	佐藤 恵子
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	2月28日チリ地震津波被災業者への見舞金支給について				
	今年2月28日に発生したチリ地震の影響による津波は、本市のノリ、ワカメ業者にも大きな被害を与えた。国は激じん災害指定をして被災者の救済を図ったが、指定のための条件が折り合わず、その恩恵を受けることが叶わないことがわかった。市では被災者の方々に対し見舞金等の検討をすべきと思うがいかがか。				
2	無認可保育所への助成を強めることについて				
	保育所待機者の多くが無認可保育所を利用せざるを得ない状況にある。従って、無認可保育所への助成を強めるべき。				
3	シルバーヘルスプラザ施設整備について				
	施設利用者からエアコン設置の強い要望が出されている。設置されたい。				

質問順	受付月日	9. 6	通告者	4 番	伏 谷 修 一
5 番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	
1	中心市街地活性化に向けた進捗状況について				
	<p>中心市街地の活性化に向けた多賀城駅周辺事業三大プロジェクトは、連続立体交差事業の進捗状況から、各方面からの関心も高まっている。</p> <p>下記の3つの観点から現況を伺う。</p> <p>(1) 市長が改選前に述べた旧長崎屋跡地が9月には方向性が見えてくるとの発言の内容について。</p> <p>(2) 激変する経済環境の中で、市街地再開発事業内にあるAゾーンBゾーンの再開発ビルの今後について。</p> <p>(3) コンパクトシティの構築、中心市街地の活性化は自治体のトップのリーダーシップの発揮と考えるが、トップが考える賑わいの創出のポイントは何か。</p>				
2	防災対策における水利確保について				
	<p>本市の災害に備えた防災体制の確立における消防水利の整備は、「地区の実情に応じた消防水利の多様化を推進し、消防水利の確保を図る」とあるが、現況と今後の計画を伺う。</p>				

質問順	受付月日	9. 6	通告者	7 番	森 長 一 郎
6 番	答 弁 者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	仙塩総合病院移転報道について				
	<p>(1) 市民の地域医療として重要な位置づけにある仙塩総合病院の移転報道について、本市との協議の経過について伺う。</p> <p>(2) 今後の当局の対応を伺う。</p>				
2	山王地区公民館、大代地区公民館の設備について				
	<p>地域コミュニティの拠点となる両地区公民館会議室及び体育館への冷暖房の空調設備、エレベーターの設置等施設の充実を願うが、当局の方向性を伺う。</p>				
3	小1プロブレムについて				
	<p>(1) 県教委による調査があり、結果が報道されたが、市内小学校についての結果を伺う。</p> <p>(2) 今後の対処方法を伺う。</p>				

4	親の学びと家庭教育への更なる支援について		
	子供たちが犠牲になる悲惨な事件が後を絶たない。先人達の教えを見ても家庭教育は重要だと思うが、本市の「親学」への取組について伺う。		

質問順	受付月日	9. 1	通告者	13番	吉田 瑞生
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	宝堰からの農業用水路と加瀬沼からの農業用水路の開口柵の危険箇所を防護することについて				
	(1) 宝堰水系の、岩切字洞ノ口交差点のところの用水路開口柵部に、防護柵設置などの安全策を図ることについて。				
	(2) 加瀬沼水系の、市道名古屋線に接続しているところの用水路開口柵部に、危険防止策を図ることについて。				

質問順	受付月日	9. 6	通告者	18番	昌浦 泰已
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	保育行政について				
	(1) 待機児童が150名以上の現状を解消する策として、太陽の家が定員割れをしていることに鑑み、保育所としての機能を太陽の家に持たせることは可能か。				
	(2) 現行保育所も保護者の就労時間に合わせて午前のみ、午後から等柔軟に受け入れ、待機児童解消を図ることは可能か。				
	(3) 幼保一元化の本市の現状はどのようなものか。				

質問順	受付月日	9. 6	通告者	3番	深谷 晃祐
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	多賀城市と東北学院大学工学部との更なる連携強化について				
	(1) 東北学院大学工学部との連携事業について、市民の参加状況を伺う。また、今後の事業内容について伺う。				
	(2) 企業の宮城県進出により、従業員の家族は学力と教育環境の充実した町に住居を構える傾向がある。東北学院大学工学部との連携を更に推進し、「学都多賀城」を全国にPRすべきと考えるがいかがか。				

(3) 東北学院大学工学部が多賀城市に立地しているメリットについて、多賀城市ではどのようにお考えかを伺う。

質問順 10番	受付月日	9. 6	通告者	14番	相澤耀司
	答弁者	市長	発言時間	30分	
環境対策について					
改造EV（電気自動車）の検討をされてはいかがか。					

質問順 11番	受付月日	9. 3	通告者	8番	雨森修一
	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	多賀城市制施行40周年記念事業について				
	平成22年2月6日、奈良・多賀城友好都市の盟約宣言並びに協定書の調印式が行われた。その際、両市の交流や相互理解を深めることを目的とした友好都市歴史シンポジウムが開催され、約300名の参加者と主催者側の発表でありました。				
	来年（平成23年）迎える市制施行40周年記念事業の中で、本市において歴史シンポジウムを開催されてはと思います。				
	また、三政庁での持ち回り事業として開催されてはどうか伺います。				
2	多目的スポーツ公園施設事業について				
	JR貨物線の跡地有効活用を含めて、留ヶ谷一丁目34の農地を市で買収し、次のように多目的に利用してはどうか。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童たちが自由に遊べるスポーツ公園。 ・高齢者の人々がスポーツを楽しむ公園。 ・水害対策の一環として、一時的な遊水池。 				

質問順 12番	受付月日	9. 6	通告者	15番	松村敬子
	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	地域経済活性化策について				
	地域経済の活性化の切り札として、地域資源を活用した観光産業の振興は欠かせないものとする。しかし、本市の観光行政の現状は、質の高い				

	<p>資源があるにもかかわらず課題が多く、厳しい現状であることは否めない事実である。よって、「観光のための観光」ではなく、「まちを元気にする観光」という視点に立ち、地域全体が恩恵を受けるような振興策を立案し、実行すべき時であると考え。そこで、本市の観光についてその現状を踏まえ、観光振興の意義や課題、そして具体的な施策等をあきらかにし「多賀城市観光振興ビジョン」の策定をされるべきと考えるが本市の所見を伺う。</p>
2	<p>子宮頸ガン予防ワクチン事業について</p> <p>いまや、国民病といわれるガンであるが、その中で、ワクチンを接種することにより、唯一予防できるガンに子宮頸ガンがあげられる。このことから、本市においても子宮頸がん予防ワクチン助成事業を実施されたい。</p>
3	<p>病後児保育について</p> <p>子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期にある乳幼児をお預かりする病後児保育を実施されたい。</p>

質問順	受付月日	9. 6	通告者	11番	戸津川 晴 美
13番	答 弁 者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	少人数学級について	<p>全ての子どもたちに豊かな学びと発達を保障するために、少人数学級の実現を、県、国に対して要請されたい。</p>			
2	学童保育について	<p>多賀城小学校の留守家庭児童学級の過密状態解消の具体案を問う。</p>			
3	高齢者対策について	<p>(1) 敬老祝い金の支給方法について、現行の振込方式では、お祝いの気持ちが伝わらないと思うがどうか。</p> <p>(2) 高齢者や障害者などゴミ出しに不自由と不安を感じている方たちに、手立てが必要と思われるがどうか。</p>			
4	道路整備について	<p>伝上山一丁目の、仙石線踏切から国道に出る道路の右側歩道が狭く、危険な状態である。拡張の見通しを問う。</p>			

質問順	受付月日	9. 3	通告者	12番	中村善吉
14番	答弁者	教育長	発言時間	30分	
1	全国学力テストについて				
	<p>本年4月、平成22年度の全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）が全国の小学6年生と中学3年生を対象として、国語と算数・数学で行われた。</p> <p>今年度は30.7%の学校を抽出して行われたが、抽出対象外だが自主的に参加した学校もあり、全体の73.5%、約162万5千人の児童・生徒が受けた。その結果がこの7月31日新聞報道されたが、</p> <p>(1) 抽出方式をどう評価するか。</p> <p>(2) 本市での参加状況は。</p> <p>(3) その結果、本市の国、県との相対比較は。</p> <p>(4) 前問(3)から小学校及び中学校での反省点は。</p> <p>(5) 今後の学力向上対策は。</p> <p>ア 対児童生徒。</p> <p>イ 对学校評価。</p>				
2	副読本「わたしたちの多賀城」の編集について				
	<p>副読本「わたしたちの多賀城」の平成22年度改訂版（DVD併用）が導入されているが、平成17年度版に比較して、どのように改訂されたか。</p> <p>(1) その大幅に改訂された内容構成は。</p> <p>(2) 掲載方法やその資料（特に、防災及び自然大災害対策等の広域性）は。</p> <p>(3) 利用方法について。</p> <p>ア 3年生から6年生の各学年ごとに教える内容は。</p> <p>イ 利用上の必要条件是。</p> <p>ウ 一般市民への有効利用は。</p>				